

# 博士課程教育リーディングプログラム 平成24年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成24年度		
申請大学名	山形大学	申請大学長名	結城 章夫
申請類型	オンリーワン型	プログラム責任者名	小山 清人
整理番号	〇〇2	プログラムコーディネーター名	飯塚 博
プログラム名	フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院		

## <プログラム進捗状況概要>

### 1. プログラムの目的・大学の改革構想

山形大学理工学研究科では、新たな価値を創成し、各方面において地域及び国際的に活躍が出来、将来的に国際標準化を勝ち取る国際的企画コミュニケーション力を兼ね備えたリーダーとなれる高度職業人及び研究者を育成しようと改革を進めている。

本プログラムでは特に下記4つの資質をバランス良く備える人材を育成しようとしている。

- 1) エネルギーや環境に対する高い問題意識と地球規模の福祉増進を目指す未来志向の使命感にあふれる人材
- 2) 有機材料工学を主とし電気電子工学、システム工学（基礎と応用）の基盤知識を備えた高度な専門性を駆使できる人材
- 3) 科学的視点と経済的視点、ミクロな視点とマクロな視点などの複眼的思考を持ち価値創成実践力を兼ね備えた人材
- 4) 国際交渉に臨めるグローバル企画コミュニケーション力を兼ね備えた人材

本学では平成22年度に日本初のフレックスコースシステム創成工学科を工学部に立ち上げ専門性に特化せず、より広いバックグラウンドを持つ人材育成を進めている。本プログラムは同科と連携した教育が可能となる。

## 2. プログラムの進捗状況

- 1) 優秀な学生を集めるため、本プログラムで履修する学生の選抜を12月6日、2月11～15日、3月8日に行った。受験者数は計23名。そのうち10名を選抜した。内訳は山形大学学生が7名（うちインドネシアからの留学生が1名）、東京工業大学学生2名、北海道大学学生1名であった。
- 2) 山形大学の内外から、優れた教育研究能力をもつ教員と卓越した事務能力をもつ職員を集めた。
  - 第一線研究者 4名
  - 語学担当教員 1名
  - SQ（社会的知性）担当教員 1名
  - 産学連携教員 1名
  - 特任教授 4名
  - ポスドク 3名
  - 事務職員 2名
  - 教務補佐員 1名
- 3) 3月6日にキックオフシンポジウムを行った。当日は当プログラムの紹介、「次世代の産業界をリードする学生の皆さんへ」、「活躍する中堅・若手工学博士グローバルリーダーからのメッセージ」、「産業界から山形大学リーディングプログラムへ期待する」と題した講演を行い、フロンティア有機材料システムの世界で活躍するグローバルリーダーを目指す、学生、社会人、外国人留学生に向けて、フレックス大学院と産業界から内外に本プログラムのメッセージを送った。関係者約100名が参加した。また、これに先立ち午前中にはプレシンポジウムを行い、高等専門学校生と教員を中心に、学生募集の告知を行った。
- 4) 本学理工学研究科キャンパス1号館の改修を行いリーディングプログラム棟とした。4月1日より稼働している。
- 5) キャンパスより徒歩5分の距離に立地する両銀ビル（パンション）にリーディングプログラム学生の寮（山形大学大学院理工学研究科（工学系）院生寮YUグラジュエートハウス）を確保し、学生の住居およびラウンジ、寮長室を整備した。
- 6) 他プログラムの好事例を学ぶことにより本プログラムの一層の向上を目指すため、3月15日～16日に開催された東京工業大学主催「博士課程教育リーディングプログラムフォーラム2012」に入学を許可された学生のうち2名と教職員2名を参加させた。
- 7) 海外インターンシップ派遣先企業の開拓を開始し、ヨーロッパ3社と学生派遣に関するネットワークを構築した。